

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名				
○保護者評価実施期間	令和7年12月20日		～	令和7年12月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	令和7年12月20日		～	令和7年12月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月31日			

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの個性を尊重した支援の実施 ・子ども一人ひとりの発達段階や特性、体調等を丁寧に把握 ・少人数での関わりや落ち着いた環境づくりにより、安心して過ごせる支援環境の整備	子どもの状態に応じた柔軟な支援と環境整備	個別支援計画の説明・共有の充実 ・保護者への説明や意見を伺う機会を定期的に設ける ・支援のねらいや内容についての共有理解を図れる取り組み
2	保護者との日常的な情報共有と信頼関係の構築 ・日々の支援の様子や子どもの変化について、連絡帳や口頭等を通じて継続的に情報共有を行い、保護者との共通理解	日々の関わりを大切にされた保護者との情報共有	情報共有方法の見直しと統一 ・日々の様子や支援内容について、記録方法や伝達手段の整備・見直し ・保護者に分かりやすく、安心していただける情報共有
3	多職種・関係機関と連携した支援体制 ・法人内の関係部署や医療機関、関係機関との連携 ・子どもや家族を多面的に支援する体制整備	職員間での情報共有と支援の振り返り	家族支援・保護者参加の機会の充実 ・家族支援プログラムや保護者が参加できるについて、内容や周知方法を工夫し、参加しやすい形での実施を検討

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援計画や面談の説明機会が十分とは言えないこと	業務の多忙化による時間確保の難しさ	個別支援計画に関する説明体制の整備
2	保護者への情報共有の方法にばらつきがあること	情報共有の仕組みが十分に整理されていないこと	情報共有方法の整理と分かりやすさの向上
3	家族支援・保護者参加の機会が限定的であること	家族支援に関する周知・発信不足	家族支援・保護者参加の促進に向けた工夫

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 百花園 5番地ルーム

公表日 令和8年2月28日

利用児童数 10名 令和7年12月31日

回収数 9名

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6	3	0	0	小規模のため適当なサイズだとは思いますが、十分とは言えません。	利用人数や活動内容に応じた空間の使い分け、備品配置の見直し、活動時間の調整等を行い、より安全で快適な支援環境の確保に努めます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1	1	0	通う人数が増えたことによって先生方の人数が適正人数なのかはわかりませんが、子どもたちをしっかりと見ていただけていると思います。	引き続き一人ひとりのお子さまに目が行き届く支援体制の維持・向上に努めます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	2	0	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	8	1	0	0		
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7	2	0	0		
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	2	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1	0	0		
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	8	0	0	1		
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7	1	0	1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	4	2	0	3		
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	3	0	もともと通っていた園との交流はまだあります。 系列でももさんや宮前口ツツ尹さんとの交流はよく聞きますが、近所の保育園等他との交流は聞いたことがない。	地域とのつながりや社会とのかかわりを大切にすることを重要と考えており、今後はお子さまの体調、感染症対策等に十分配慮したうえで、無理のない形での地域交流や外部との関わりについて検討します。
保 護 者 へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	0	1	1		
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7	0	0	2	ここ1年近く面談をしていないように感じる	支援計画の作成および見直しの時期に合わせて、個別支援計画の内容を分かりやすく説明する面談の機会を定期的に設けるとともに、必要に応じて書面や連絡帳を活用し、支援内容の共有に努めます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1	4	あまり参加できていません すみません	保護者の皆様の生活状況や負担に配慮し、短時間で参加できる内容や、個別相談、参加のしやすい支援の提供を検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていますか。	8	1	0	0	前の園では日頃の活動の様子を写真のデータとして確認ができていたため、1か月ごとでいいのでLINEで送っていただけたり手元で確認できるものがあると安心です。普段どんな様子なのか、家とは違う表情があるのか、散歩の様子などが知りたいです。 いつも丁寧に連絡帳を記入して下さいありがとうございます。	情報共有の在り方を見直し、LINE等を活用して、お子さまの普段の表情や活動の様子が伝わるよう改善に努めます。引き続き、保護者の皆さまとお子さまの状況を共有しながら、支援に活かしていきます。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	1	2	1	送迎時に普段の様子は伺っています。	今後は保護者の皆さまのご希望や状況に応じて、定期的な面談や子育てに関する助言の機会を設け、より安心してご利用いただける体制づくりに努めます。

の 説 明 等	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6	3	0	0	いつも優しく接して下さりありがとうございます。	今後もお父さま・保護者の皆さまに寄り添った、共感的な支援を大切にしていきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	4	0	3	ももでの活動は見ましたが、実際に5番地ルームでの保護者の交流会などはない。	当事業所ではスペースが限られているため、同法人内の児童発達支援センターももの場所を借りて、保護者同士が交流できる機会を設けております。今後も、法人内の連携を活かしながら、保護者同士の交流や情報共有ができる場を継続して提供していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6	1	0	2	日によって送迎時間が違うため、仕事もあるので事前に清水便なのか早い便なのかを知ることができると助かります。帰りの時間も日によって違うので大体の時間がわかると準備がしやすいです。	今後は、送迎時間に変更が生じる場合には、できるだけ早めにお知らせするなど、保護者の皆さまが見通しを持ちやすい対応に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	2	0	0	送迎の際に丁寧に接して下さりありがとうございます。	引き続き送迎時の対応に限らず、より分かりやすく丁寧な情報共有の方法を工夫し、信頼関係づくりにも努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	1	1	0	年間行事などが前もってわかると訪問リハや通院があるため予定が立てやすいと思います。5番地ルーム便りいつも楽しみにしています。	今後は年間行事等の予定を事前にお知らせし、分かりやすい情報共有に努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1	1	1	訓練まではしているか不明だが、利用時にマニュアルについては説明はあったと思う	保護者の皆さまへの周知や訓練内容について、十分にお伝えできていなかった点を受け止め、今後は訓練の実施やその内容についても分かりやすく周知していきます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5	0	1	3	防災訓練や、引き渡し訓練がまだない。定期的に防災訓練しているのかも知らないが、知らない	今後は、訓練の実施時期や内容について、より分かりやすく事前・事後に周知を行い、安心していただけるよう改善していきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1	0	3	健康面のことですが、インフルエンザや感染症が流行しているため施設外の散歩に行く際やももに行く際などの感染対策をしているのか少し疑問です。自分の子供もそうですが医療ケアが必要なお子様もいらっしゃるため、5番地ルーム以外の子供との交流は感染症が流行する季節は気をつけていただきたいと思います。人混みはできるだけ避けて生活しているので、手洗いが難しい子供達なら尚更各家庭任意でいいですが手の消毒など行ってほしいと思います。	感染症流行時の活動内容や感染対策についてのご不安を受け止め、今後は手指消毒を含めた対策の徹底や、状況に応じた活動の見直しを行っていきます。
26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	1	0	2			
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8	0	0	1	先生や友達が大好きな様子がうかがえる	引き続き、お父さま一人ひとりが安心して過ごせる環境づくりと、信頼関係を大切にしたいと支援に努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	6	1	0	2		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7	1	0	1		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 百花園 5番地ルーム

公表日 令和8年2月28日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	2		利用児が増えたことと、寝た状態で過ごすことが多い子どもが増えたことで、生活スペースが狭いと感じる曜日もある。床のスペースにフロアマットを敷いて生活空間を広げたらどうかと思う。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1		個別対応の場がない。 ・活動内容や時間帯に応じて空間の使い分けやパーティション等を活用し、個別支援が行える環境づくりについて検討する。 会議の時間を設定する必要がある。 ・今後は計画的に会議の時間を設定し、職員間の共有理解や支援の質の向上を図る。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	1		情報職員すべてに行き渡るようにして欲しい。 ・今後は会議や記録を活用し、支援内容や重要事項について職員間で共有理解が図れるよう取り組む。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	1		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3	1		
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3	1		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	2		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	2		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1		送迎に出たしまい振り返り等が難しい。 ・限られた時間の中でも支援内容の振り返りが行える体制づくりを検討する。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0		
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	1		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2		今年度は就学児がいない。
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	3	1	同じ法人の児童発達支援センターの行事には参加できている。	・染症対策を徹底しつつ、参加内容を日々の支援に活かせるよう情報共有や振り返りの方法を検討する。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	4			
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0			
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	3			
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0		

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4		
	非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	
46		業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
47		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		
48		食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
49		安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0		
50		こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	1		
51		ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	1		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	1			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0			